

平成30年度優良少年消防クラブ・指導者表彰（フレンドシップ）の開催

総務省消防庁地域防災室

1 はじめに

平成31年3月23日（土）、イイノホール&カンファレンスセンターにおいて、「平成30年度優良少年消防クラブ・指導者表彰（フレンドシップ）」を開催しました。

消防庁では、クラブ員や指導者の意識高揚とクラブ活動の活性化を図り、少年消防クラブの育成発展に寄与することを目的に、昭和29年から毎年、優良少年消防クラブ及び指導者の表彰を行っています。

今回は、第1部「表彰式」、第2部「特に優良な少年消防クラブ（3クラブ）による活動報告」及び第3部「東京消防庁音楽隊による祝典演奏」という構成で開催しました。

2 少年消防クラブについて

少年消防クラブは、防火・防災思想の普及を図ることを目的として、小学生から高校生までの少年少女で結成されており、平成30年5月1日現在、全国に約4,600のクラブ、約41万人のクラブ員、約1万4,000人の指導者が活動しています。

少年消防クラブ員は、防火や防災についての知識を身近な生活の中に見出すとともに、日ごろから防火・防災に関するさまざまな訓練の実施、防火パトロールや火災予防ポスターの作成などを通じて、地域における防火・防災思想の普及に努めています。

3 式典

第1部では、「特に優良な少年消防クラブ」24団体、「優良な少年消防クラブ指導者」12名が、大西総務大臣政務官から、「優良な少年消防クラブ」42団体が黒田消防庁長官からそ

れぞれ表彰を受けました。その後、受賞団体を代表して富山県の富山市立熊野小学校少年消防クラブの代表者より、元気良く「お礼のことば」が述べられました。



特に優良な少年消防クラブの表彰

第2部では、「特に優良な少年消防クラブ」を受賞したクラブの中から、「浦安市少年消防団（千葉県）」、「小金井消防少年団（東京都）」、「大和市少年消防団（神奈川県）」の3クラブから、日頃のクラブ活動について報告していただきましたので、簡単にご紹介します。

（1）浦安市少年消防団（千葉県）



浦安市少年消防団は、市内の小学5年生と6年生を対象に、平成24年4月1日に発足しました。平成30年度は6期生と7期生の合計71名の団員が活動しており、発足からの6年

浦安市少年消防団救急リーダー

- 平成30年度より、救急に関する知識と技術を習得し、命の大切さを養い、市民や少年消防団員へ救急指導を実施することを目的に「浦安市少年消防団救急リーダー」が発足しました。



間で、延べ 311 名の団員が入団しました。消防団員の指導員を中心に、訓練を計画し、月 1 回のペースで活動を行っています。

主な活動として、平成 27 年度より、少年消防クラブ交流会（全国大会）へ参加しており、合同訓練では、体格の勝る中学生チームに勝てるよう訓練に励み、平成 30 年度は 1 位の成績を収めました。

また、平成 30 年度より救急に関する知識と技術を取得し、命の大切さを養い、市民や少年消防団員へ救急指導を実施することを目的に浦安市少年消防団救急リーダーという制度を発足しました。希望した団員が、個別訓練を行い、認定試験に合格することで救急リーダーとして認定されます。今年度は 17 名の団員が認定され、毎月 1 回の全団員で行う通常訓練終了後に、実際の現場で活躍している救急隊員から直接指導を受け、心肺蘇生法、止血法など救急に関する訓練を行っています。さらに、市内で行われた救急フェアや火災予防コンサートなど消防本部が行うイベントでの市民向けの救命講習会や、本市で開催した少年消防クラブ交流会の 2 日目では、全国の少年消防団に対して、救命講習指導を行いました。そして、他の団員と識別するために

救急リーダー専用のワッペンを貸与し活動を行っています。

来年度は、地域貢献活動や保護者参加型の訓練など、今までに行っていないものも計画しており、さらには、保護者の方にも日頃の訓練の内容を見ていただくことを目的として浦安市少年消防団の Facebook を作成、更新し、全国の多くの方々に見ていただきたいと思っています。

（2）小金井消防少年団（東京都）



小金井消防少年団は、平成 10 年 12 月に設立され、20 周年を迎えたクラブです。現在は、団長以下 14 名の指導者のもと「7つのちかい」の理解と実践に努め、防火防災の知識や技術の習得及び団体行動力を身につけるとともに、将来の地域防災リーダー育成を目的に規律訓

練、応急救護、初期消火訓練のほか防災施設での体験学習、野外宿泊訓練を実施しています。

活動は、4月の入卒団進級式から始まります。夏には、毎年サマーキャンプを行い、平成30年度は御殿場に行きました。夜にはキャンプファイヤーを楽しみ、最後は少年団員らしく消火活動も行いました。秋には毎年恒例の秋の火災予防運動を行います。花粉症や風邪の人には欠かせないポケットティッシュに防災についての知識を印刷した紙を入れ、駅周辺で配ります。冬には、寒い中、近くの商店街で行われるイベントで鼓笛演奏をしたり、消防署の一般公開の際にも練習の成果を披露しました。年が明けると出初式があり、ここでも鼓笛演奏をするのですが、待っている間に見る大人の消防団の方たちのきびきびした動きは、私たちの士気を高めてくれます。そして、2月には昇級テストが行われます。筆記試験と実技試験に向けての勉強や練習を行い、しっかりと対策をし、昇級や実力向上のために努力を重ねています。

さらに、18名の中・高校生団員が中心となり、小学生団員に対して防火防災に関する知識や技術、防災行動力の基本を教えながら、

自らが地域防災の担い手や防災リーダーとして活動できるように協調性や積極性を養っています。年間を通して地域に密着した少年団活動を展開し、防災行動力を育くむとともに自分達が住む街を知り、ボランティア精神を涵養する活動を行っています。

(3) 大和市少年消防団 (神奈川県)



大和市少年消防団は、平成5年に設立され、現在、小学校4年生から中学校3年生までの児童及び生徒194名が活動しています。25年前に結成して以来、団員が火災予防、防災、減災について学び自ら行動できる能力を身に着けるとともに、市民とともに災害のない社会づくりを考える活動に取り組んでいます。

そして、卒団生の高校生、大学生、社会人を中心に、現在17名が指導員として活動をサ



小金井消防少年団
の資料抜粋

大和市少年消防団
の資料抜粋



ポートしています。

活動は、礼式、初期消火、応急手当などの実践的な訓練や、宿泊、日帰りでの野外研修を実施しており、さらに、大規模地震へ備えるため、避難所体験訓練も行っています。その他、大和市民まつりパレード、消防出初式などのイベントや大型ショッピングセンターなどで火災予防のPR活動も実施しており、大和市少年消防団の活動が多くの市民に伝わっていると感じています。

第3部では、「東京都民と消防の架け橋」として演奏活動を通じて防火・防災の意識向上と協力を呼びかけている東京消防庁音楽隊の皆さんに、素晴らしい演奏を披露していただ

き、会場全体が感動に包まれました。

4 終わりに

今回受賞された少年消防クラブをはじめ、全国の少年消防クラブの皆さんには、多くの仲間とともに日ごろの防火・防災活動にさらに励み、家庭や学校あるいは地域で、防火・防災の輪を広げていくリーダーとしての活躍が期待されています。

また、少年消防クラブの活動は、指導者の方々の熱意によって支えられており、指導者の方々には、今後とも少年消防クラブの育成・発展に御尽力いただきますようお願いいたします。



東京消防庁音楽隊による祝典演奏

